

# 名古屋学院大学同窓会会報

NAGOYA GAKUIN UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION NEWS

第2号('91.10)

名古屋学院大学同窓会事務局発行  
愛知県瀬戸市上品野町1350  
TEL0561-42-0350(内線201)

## 『大学同窓会会報』の第二号によせて

会長 池山 忠



会長就任のごあいさつ

(はじめに)

晩秋のころ、同窓生の皆様には、ますますご健勝のことと拝察いたします。平素は、同窓会の運営と母校の発展のために格別のご配慮をたまわり、厚くお礼申し上げます。

(新会長として)

さて、本年、大学同窓会会長として、ご尽力いただいた岸邦治郎氏は、ご都合により、本年五月大学同窓会役員会を最後に勇退されました。同氏のご努力に対し、同窓生一同深く感謝するとともに、その功績を永く讃えるものがあります。

これにともないまして、新会長人選の必要が生じたため、大学同窓会役員会のみなさまから、わたくしに対してご要請をいただきました。もとより、この重責を果しえる十分な自信には欠けますが、大学冬の時代あるいは大学の質的転換期に当たり、母校発展の礎を築くため微力を尽くさせていただきます。

こととなりました。

みなさまのご支援ご指導をお願いいたします。

(大学の近況)

わが名古屋学院大学は、開学二十七年を迎え、実社会で活躍する卒業生も一万八千名を輩出するに至りました。

母校は、来年度は商学部を増設する計画であり、三学部四学科一別科となり、総合大学への道を着実にすすんでおります。また、大学院設置についても、着実にその準備がすすめられております。学内設備についても、第二学生食堂が建設され、通学バスの路線増など、教学内容の充実に向かって努力が重ねられております。

また、外国語学部も軌道にのり、海外に短期・長期留学する学生も増え、中部における国際交流の中心大学としての基盤を確立しつつあります。

ここに至るまでの、学長、理事長をはじめ教職員のみなさまのご苦勞に、心より感謝申し上げる次第です。

(お礼とお願い)

大学同窓会は、一昨年より新たな道歩みをはじめました。みなさま方のご協力により、目的達成のため一歩一歩着実に進んでおります。昨年のホーム

カミングデーにおきましては大雨にも係わらず、二百五十名の同窓が母校に集うことができ、有意義な一日を過ごすことができました。また、同窓会活動になくてはならない運営資金として、年会費のお願いをいたしましたところ、多数のご協力をいただきました。役員一同、大きな励みとなり、一万八千名の卒業生のみなさまのために、さらに努力を重ねる覚悟でございます。今後の同窓会活動を活発にするためにも、年会費につきましてご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(今年度の活動方針)

今年度の活動方針としては、ホームカミングデーの開催、名簿の整備、卒業生の集い、支部の結成、会報の発行などを予定しており、精力的に進めております。

まず、十一月三日には、好企画が盛りたくさんの第二回ホームカミングデーが新装なりました思星館(第二食堂)にて開催されます。ご家族おそろいで、またお友達をお誘いのうえ、ご参加ください。恩師の先生方や、旧友の方々の旧交をあたため、楽しいひと時を過ごしましょう。当日お会いすることを楽しみにしております。



大学は一九六四年に開学しましたから、三年後の一九九四年には開学三十周年を迎えることになります。それまでは、教学のビジョンとしましては、

## 同窓会に期待する

学長 西村 晃夫

三学部、二大学院研究科、一別科の体制を確立したいと考えています。ひるがえって日本の教育界は明治以来からの量的拡大期は終り、今質的充実の時代に入りつつあります。大学審議会大学院部会の七月二十五日の提言では、二〇〇〇年には大学院生を現在の二倍の一八万人に増員して、社会人も積極的に受け入れるとされています。当然本学もそうした流れにそった教学の充実をはかります。

教学充実の前提は経営基盤の安定と強化です。中・長期の経営計画は、ときには専門家の手をかりて綿密に作るべきです。八月から理事会も新しく構成されました。財務面に配慮しながら

も、教学の代表として理事会に教学内容の充実のため施策を要請していきま

す。同窓生の皆さんの存在は、大学にとつてきわめて重要ですし、同時に大学外にも広く賛同者を求めての「名古屋学院大学後援会」を設立したいと考えています。皆さんのご理解とご協力を切望いたします。「大学冬の時代」をおそれるむきもありますが、適切に堅実に対応していけば、十分のりきれると考えています。卒業生には「誇れる母校」、父兄には「子供を任せられる大学」という評価を定着させます。

\*\*\*\*\*



第2回 Home coming day

### 第三回 ホームカミングデーご案内

卒業生のみならず！

澄みわたる素晴らしい秋の季節、品野台の深い山の空気が、素晴らしいキャンパス、外国語学部につどうたくさんの女子大学生、壮大なスケールのあたらしいカフェテリア、チャペル、留学生そして大学祭……

ぜひ家族づれでお気軽にご参加ください！

卒業生参加者は毎年倍増。今年の日標 ○○○名！

- とき 一九九一年十一月三日(日) 十一時三十分～十四時
- ところ 名学大 思星館(第二食堂)

★コンサート

エゴン・シレー他出演

★屋台・お祭広場

軽食類・飲物など、食べ放題、飲み放題の大サービス

★大学情報コーナー

大学案内を用意して、ご子弟の受験相談を受けたまわります。

★あつとおどろく景品が当たる抽選会

★受付★

思星館入り口。抽選券、記念品をお受けとりください。

★駐車場★

係員の指示にしたがって、駐車してください。

### 第二回ホームカミングデー報告

第二回ホームカミングデーが、昨年十一月四日(日)に盛大に行なわれしました。当日は、早朝から大雨に見舞われ出足が心配されましたが、同窓会創刊号による通知も効を奏し、心待ちにしていた各界で活躍するOBとその家族、教職員、来賓など、約二百五十名

が、希望館三階キャンパスホールに集いました。遠くは、奈良より岩城名誉教授も駆けつけていただきました。

会長挨拶に始まり、大学の近況報告、恩師や旧友との交わり、キャンパスツ

ア、抽選会、OBによるバンド演奏、キャンパスグッズ即売、大学論集等資料配付、入学試験相談、大学祭への参加、そして夜は、岩城先生の叙勲を祝う会、と盛りだくさんの企画がありました。

参加者は、家族的な雰囲気のおかげで有意義なひと時を過ごし、一様に母校の躍進ぶりに目を細め、大学のさらなる発展を祝い母校愛を新たにしました。また来年ここに集うことを誓いあい、

同窓の絆を確かめました。

# キャンパスライフ



本年経済だけの単科大学から、第二の「外国語学部」(英米語学科・中国語学科)が増設され早三年経ちました。

そして、キャンパスは、白亜のイメージから赤レンガへと大きく様変わりしました。訪れる人々は、皆口々に「これが大学ですか?どっかのホテルみたいですね!」など驚きの様子を隠しきれません。そこで、様変わりした大学のキャンパスについて、幾つか紹介してみたいと思います。

## 急増した女子学生

経済学部のみ時代には、一学年二



〇名ほどであった女子学生が、外国語学部増設にともない、今や一学年一五〇名以上で全学年では六〇七〇〇名に達し、キャンパスはいま草やかなムードで一杯です。当然の事ながら、女子学生のもたらす効果は大きく、例えば、講義の出席率が高くなったり、麦粉苑や食堂などで勉強しあう光景とか、クラブ・サークル活動が活発になったりといった具合なのです。また活気を作っている裏面に施設の充実も見逃せません。

## 日本初?サテライト・スタジオを持つ カフェテリア(学生食堂)完成!

キャンパスを盛り上げる大きな要因として施設の充実があります。以前からあった

啓明館の食堂が改装され、リフレッシュしたのに加え、新たに啓明館すぐ前に第二学生食堂が建設され五月にオープンしました。一階には、キャンパス内をエリアとするミニFM放送局を兼ね備えたサテライト・スタジオが設置され、放送文化研究会が中心となり、月・

火・木・金曜日の四日間、ディスクジョッキーなどトーク番組・音楽などをオン・エアしています。また、一階には、丸善書

店、二階食堂はサン・ナカムラが入店し、食堂内は、とにかく明るく賑やかにになりました。

その他、パイプオルガンが優雅に響きわたるチャペル、三階分吹き抜けの希望館など赤レンガで統一された建物は、キャンパスを愛身させ、生き生きとしています。



## 外国人留学生二〇名が集う国際色

### 豊かなキャンパス

バス停から友愛寮に向かってすぐ左に、国際セミナーハウスがあります。ここには、アメリカ・イギリス・オーストラリア・中国・東南アジア各国の留学生が集っていま



す。彼らも、国際色豊かで華やかなキャンパス作りに一役かっています。国際交流は近年、益々さかんととなり、アラスカ州立大学をはじめとして一〇数大学に五〇名ほどが長期留学し、そして、短期留学には二〇〇名ほどがイリノイ・ベネディクティン大学、南開大学などで学んでいます。

## 発展するキャンパス文化

その一翼をになっているのがキリスト教センターで、毎年宗教講演会やコンサートを何度か行なっています。六月には、星台秀郎氏の講演会「讃美歌との不思議な出会い」や、スペインの著名なオルガニストのホセ・ゴンザレス・ウリオール氏をむかえてのチャペル・コンサートなどを開催し、地域文化・キャンパス文化の発展に務めています。今秋後半には次の催しがあります。

(一般公開、入場無料、キリスト教センター)

10/31 (水) Pm 2:00 ~ チャペルにて  
 「三浦はつみオルガン・リサイタル」  
 立教女学院のオルガニストで、若手の中では最もすぐれたオルガニストとして授米を期待されている。

11/10 (日) Pm 2:00 ~ 栄光館

「サンデー・ゴスペル・リサイタル」  
 マルティン・ルーサー・キング牧師の片腕として黒人の公民権運動を推進したニューヨーク・ハーレムのワイヤット・T・ウォーカー牧師とケイサン・バプテスト・アンサンブルの一行が宗教部の招きで来学。黒人聖歌の現代版である「黒人ゴスペル」をたっぷり歌っていただく予定です。

また「産業化学研究所」では、今秋次のような社会人講座を聞いています。

10/2 (水) 「江戸時代の貨幣とその流通」  
 (浦長瀬 隆 助教授)

10/9 (水) 「日本政治の源流―古代貴族の世襲と派閥」  
 (曾我 良成 助教授)

10/19 (土) 「東洋経済史学の新しい流れ」  
 (林 善義 教授)

10/23 (水) 「中国古代の選文化―唐代の飛龍編をめぐって」  
 (黄 名時 講師)

10/30 (木) 「オレクシヨンの功罪―商業史に学ぶもの」  
 (中村 勝 教授)

\*毎週水曜日、

Pm 6:30 ~ Pm 8:30

希望館第三会議室  
 無料送迎バス 名鉄瀬戸駅へ大学

様変わりしたキャンパスの各種催しにご参加がたがた、是非一度訪れてください。

## 国際交流

一九六七年に始まった本学の国際交流は、現在まで二十七年間に約一〇〇名の長期留学生をアメリカへ派遣し、他方アメリカから六〇名以上の交換留学生を受け入れ、日本語・日本文化の教育を行なってきました。日本の大学の国際交流としては、草分け的存在です。すばらしい異文化体験をも

とに、留学生OBは今、医者・ビジネスマン・大学教師としてそれぞれの母国で活躍しています。

一九八七年からは外国語学部設立にともない、本格的な国際交流の時代に入りました。受け入れ留学生のための日本研究コース(定員三〇名、日本語・日本文化の研究)は、中部圏内の四〇数大学(留学生総数一、八〇〇人)中、欧米からの留学生数では南山大学について第二位です。

派遣留学生制度は、アメリカ(二〇校)・オーストラリア(二校)・中国(四校)と提携し、毎年一〇〇名以上の名学大生が海外での厳しい勉強と素晴らしい異文化体験を行なっています。派遣留学生の数は一〇〇人単位で飛躍的に大きくなっています。



### 留学生のホストファミリー募集

留学生別科には現在もカ国二名の留学生が学んでいます。留学生はキャンパスの会館(インターナショナル・セミナールーム)で暮らしていますが、ホームステイ(短期・長期)で、日本語と日常生活を学ぶことを熱望しています。同窓生のみならず、言葉の問題はそれほど心配りりません。受け入れの可能性があれば是非ご連絡ください。必要ご家庭がたいへん不足しています。

(国際交流センター)

電話：〇五六―一四二―〇七三七

対象学部	派遣先	派遣数	派遣期間
全学年(二年生以上)	アメリカ・オーストラリア	公費数名	8月
英米語学科三年生	アメリカ・オーストラリア	公費15名	2・8月
中国語学科二年生	中国	公費3名	2月
全学年	アメリカ協定校	自費30名	7~8月
英米語学科一年生	アメリカ協定校	自費50名	1~2月
英米語学科二年生	アメリカ協定校	自費30名	7~8月
中国語学科二年生	中国協定校	自費40名	8月

- 携帯校
- アメリカ ALASKA PACIFIC UNIVERSITY, COE COLLEGE(IOWA), RANDOLPH-MACON COLLEGE(GEORGIA), FAUCI UNIVERSITY(OREGON), MEMPHIS STATE UNIVERSITY(TENN.)
  - オーストラリア MACQUARIE UNIVERSITY
  - 中国 西工大, 石門, 湖南師大, 華東師大, 華南師大
  - アメリカ UNIVERSITY OF ALASKA (EMERUS), AUSTIN COLLEGE(TEXAS), CEDAR CREST COLLEGE(PENN.), THE UNIVERSITY OF NORTH CAROLINA, WILMINGTON

## 大学同窓会の活動

### 大学同窓生のネット ワークを構築しよう



第一回の卒業生から、早くも二十四年経ちました。それが職場の第一線で活躍する一方、少しずつ余裕が出てきた年代となりました。今、わが母校名古屋学院大学は、経済学部をベースに、三年前に外国語学部・留学生別科を増設し、そして、商学部、大学院等を計画し飛躍的発展を遂げようとしています。その間、我々同窓生は、ほとんど再会のないまま時間が過ぎていきました。

近年、大学同窓生の有志から、何とか同窓会活動を活発化させ、再びキャンパスで会おうではないかとの話が持ち上がり、昨年、大学構内に同窓会事務室をお借りし、会報

の発行そしてホームカミングデー（卒業生が母校に集う日）を行なって参りました。

また、大学からも我々同窓生には大きな期待を掛けられています。今こそ息の長い同窓生ネットワークづくりを推進させましょう。具体的には、各県単位・職場での支部作り、セミナー・クラブ・サークル等の親睦会など、できることから積極的に具体化させましょう。そして、お世話になったわが母校名古屋学院大学に対して、今後出来るかぎりの援助を行なっていきたいと考えます。このような活動に関して、是非ともご意見をお寄せください。

### 広がる名古屋大同窓会ネットワーク 二支部（東京、大阪） 設立準備始まる

これまで、本部事務局を中心に活動を進めてまいりましたが、今回、小松照幸氏（六九E）より、東京支部を中川博嗣氏（六八E）より、大阪支部を設立したいとの申し出がありました。すでに東京では何度か親睦

会が開かれていますが、全国に広がっている同窓生の皆さんのより緊密なネットワーク作りのためにも、また、母校が全国レベルの大学に成長するためにも、二支部が大いに協力し親睦の輪が広がることを期待します。関東、関西に在住の皆さん！積極的な参加をお願いします。

支部名	連絡先（世話人）
東京支部	小松 照幸 （電話〇三―三四二―二一―三四三）
大阪支部	中川 博嗣 （電話〇六一―七二―三―五七四）

\* なお、大阪支部では設立総会を本年十一月十五日に行なり予定です。参加される方は世話人宅へご連絡ください。詳しい案内は追って連絡させていただきます。

またこの二支部以外にも、すでに支部設立を行なっている方々や新たな活動希望がありましたら、事務局までぜひご連絡ください。



### 友愛寮生の同窓会 キリスト教センター 主事 林 晃

昨年の九月十五日、十八日、岩屋堂で七六Eの友愛寮生同

窓会が開かれました。卒業後約十五年ぶりの再会です。寮生三〇名のうち、十七名が全国各地よりかけつけました。学生時代と全く変わらない者、風格の出てきた者、おじさん臭くなった者とさまざまですが、暫くたつと友愛寮時代と全く同じパターンで、ふざけ合いをはじめ人間ってものはあまり変わらないものだと感じさせられました。

ほとんど徹夜に近い状態で、寮時代の思い出、近況が語られ、翌日なつかしの寮、キャンパスを見学しました。学生時代とても手のつけられなかったワルが、十五年後、福祉作業所の指導員として働いていると自己紹介し、みんな呆気にとられるという一幕もありました。学生時代だけを見て、人を判断してはいけない、もつと長い目で見てやらねば、自戒した次第です。今年も七八Eの同窓会が計画されており、今から楽しみにしています。



お元気ですか。懐かしさにペンをとりました。

私は、十五年生活した都を捨て、主人と、娘二人、二匹の犬と、猫二匹、一羽のお喋りインコ、みんなで二〇〇〇kmの海を越えて沖繩に移り、もう六年の歳月をこの南の島ですこししています。リゾートとは無縁の本島北部、太平洋側の嘉陽カウという小さな海辺の集落に生活しています。

## O B 短 信

〒905-22 沖繩県名護市嘉陽9  
TEL (1980) 55-8862  
奥行 淑子 (旧姓宮野) (69E)

ここは、パスポートの必要だった時からこの島に魅せられて何度も通っていた私たちが、こどもが生まれたら必ず大都会ではなく、こんな所で育ててみたいと思っていた所なのです。

こちらに来た時には、一ママ、なぜこの海は底まで透けてみえるの〜と驚いていた娘たちも、今では私よりも大きくなり、方言を話し、魚のように珊瑚礁の中を泳ぎまわり、色々な獲物を食卓に運んでくれる鳥の子になっています。

北部の大都会、人口五万の名護の職

場までは二  
三km。その  
間、信号は  
一つもあり  
ません。車  
で三〇分程  
の海辺を毎  
日楽しんでおります。浜に寝そべって、



ビール片手に白い砂に照りかえる月光で本を読むなどという私の日常も、考えてみれば何てリッチなことでしょう。ここではお金はなくとも、大自然と、かけがえのない集落の人々の人情が私たちの宝物です。

そんな片田舎ですが、こちらの方にお見えの際には是非お立ち寄り下さい。海の幸をごちそういたします。ではお元気で。  
一九九一年九月二十日



恩師の近況

本学名誉教授小林茂先生は、平成二年の叙勲で勲四等瑞宝章を受けられま

した。先生は一九七五年から約二年半学長代行を歴任、また被差別部落史の権威者で現在も研究活動に精力的に携わっています。先生の恒例の夏期集中濃講義「同和問題」は日本の大学でも珍しく、評価の高いものです。

## 大 学 通 信



加藤 鏡吉先生より

実社会での業務遂行のために必要な勉強は社会へ出てから行なうものであり、大学での学習はそのための基礎を培うものであるとは、常に言ってきたことでもあります。この事については、経験を得られた卒業生の皆さんの同意を得られるものと思えます。その信条での講義やゼミの成果が気になるところです。私も近く奉職二五年、やがては定年も来ます。

皆さん同様、この学園を良い思い出の場にしたものと思っています。



### 各種証明書の申込方法

各種証明書の申し込みはつぎの要領でどうぞ！

(1) ご依頼文には、氏名、生年月日、在学時の学部学科名、卒業年度を書き、必要な証明書を明記して下さい。

(2) 発行手数料と返信郵送料を手紙に同封し、教務課へ依頼して下さい。

成績証明書 / 三〇〇円 (和文)

六〇〇円 (英文)

卒業証明書 / 二〇〇円 (和文)

三〇〇円 (英文)

郵送料 / 一〇〇円

\*なおお急ぎの方は、同窓会事務室へご連絡下さい。



## 図書館案内

附属図書館の蔵書は二十六万冊。雑誌は三千二〇〇種と充実しており、また、空調設備も整って、快適な図書館として、利用されています。

三階には、学生OA室が設けられており、自由にパソコンがつかえます。機種は、日本で最も普及しているPC-9800シリーズが六台。このパソコンで、ワープロソフト「太郎や」、英文ワープロワードスターが利用可能です。

衛星放送が、グループ研究室にある40インチのプロジェクション・テレビ

で見られ、特に英語ニュース番組のCNNが人気となっています。

図書館は、ニューメディアも積極的に導入しており、たとえば日本経済新聞が提供している日経テレコンというオンライン検索サービスは、新聞・雑誌記事、新製品情報、企業信用情報の検索に利用できます。

名学大図書館は、教職員と在学生以外にも、一般に利用が公開されています。もちろん同窓生の利用も可能です。掘孝彦図書館長は、「いわゆる生涯学習時代において、大学図書館が一般に公開されるのは、当然のこと。卒業生の方々にも、ぜひ利用していただきたい」と前向きな姿勢を示しています。ただし、試験期などの混雑時には、図書館として十分な対応ができないときもあるので、できれば、あらかじめ電話で問い合わせをしてから来てほしいとのこと。

もう一度、学生時代の図書館にもどり、新しい情報活用方法を身につけられてはいかがでしょう。

開館時間 九時三十分～十七時

(月～金、土曜日は十三時まで)

連絡先電話番号

〇五六二(四二)〇三五二

## 1992年度の入試案内

### 入試情報

#### 一九九一年度の

#### 入試結果

九一年度は史上最高の一二〇万人の受験生がしのぎを削り、本学でも経済学部が八七〇〇名、外国語学部が二六〇〇名の受験者があり、受験競争率は五倍から六倍でした。とくに外国語学部は順調な教育実績の浸透を裏付けるように、前年度比九四％の大幅な志願者増となりました。

#### 一九九二年度の

#### 入試要領

一九九二年度の入学試験は、一般入試、推薦入試、特別入試を実施します。詳細は入試課へお問い合わせください。

### 入試日程

#### ●経済学部

募集区分	学 科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続き日
一般推薦試験	経済学科 商 学 科	1991年 11月1日(金) 11月13日(木)	11月28日(土)	本 学	12月3日(水)	12月12日(木)
		1992年 1月9日(水) 1月24日(金)	2月1日(日)	本学・津 学舎・沢上 津島東大豊	2月15日(土)	第一次 2月28日(金) 第二次 3月23日(月)

#### ●外国語学部

募集区分	学 科	出願期間	試験日	試験地	合格発表日	入学手続き日
一般試験	英米語	1月9日(水) 1月25日(土)	2月4日(水)	本学・津 学舎・金岡 津島東大豊	2月15日(土)	第一次 2月28日(金) 第二次 3月23日(月)
	中国語		2月5日(水)	本 学		

(注)上記以外に、特別推薦試験(スポーツ)、海外帰国子女試験、外国人留学生試験、社会人特別試験を実施します。これらの要項が必要な場合は入試課にご請求ください。

(注)上記以外に、海外帰国子女試験、外国人留学生試験、社会人特別試験を実施します。これらの要項が必要な場合は入試課にご請求ください。

# 同窓会事務局便り

## 事務局にパソコン設置

同窓会事務局にパソコン（富士通FMR50A）が設置されました。これで、ワープロによる資料の作成はもとより、情報処理センターの端末として、会員データの整備にも利用できるようになりました。会員名簿の早期完成に威力を発揮するものと思われまます。

## 年会費について

他大学と同様に同窓会活動をなうためには、しっかりとした財源が必要であることは言うまでもありません。しかし、まだまだ困難な状態がつづいており、円滑な運営のためには、会員の皆様の年会費に頼らざるを得ないのが現状です。なにとぞご理解の上、昨年と同様ご協力くださいますようお願い申し上げます。年会費は、同封の振込み用紙

をご利用の上、一口二〇〇〇円で、お近くの郵便局にお振込み下さい。

## 会報原稿募集中!

同窓会誌は、名学大同窓生全員の財産です。卒業後の苦労話や成功談、失敗談、海外旅行の思い出話、ゼミナールOB会の報告など、身近な出来事、たのしい話題をお待ちしております。原稿用紙はお返し出来ませんので、コピーをお取りください。掲載分には記念品をお送りします。ぜひ!ぜひ!ふるってご応募ください!

## 広告募集中!

会報発行に際して、紙面のより一層の充実を計るため、また一万八千人の会員諸氏のビジネスにご利用いただくため、広告を掲載することになりました。詳細は、事務局までご遠慮なくお尋ねください。

## 同窓生住所の異動について

現在名簿の整備を鋭意進めておりますが、住所不明者がかなりの数に達し

ております。

友人・知人、クラブOBで不明者の消息をご存知の方は、至急事務局へご連絡下さい。

またあなたの住所・勤務先の異動があれば、同封のハガキにご記入のうえ、事務局宛でお送り下さい。

## 同窓会室のご案内

大学に同窓会室が出来てから早二年たちます。事務局は加藤 寿江麻氏（事務局長）と牧野ひろみさん（専任職員）のお二人にお世話いただいております。来訪者の接待、大学同窓会名簿の整備など山積する仕事を精力的にこなしています。



場 所：第二研究館・一階  
（正門玄関の右建物）

開室時間：九時三〇分～十六時

（月々金）

電 話：〇五六―一四二―一〇三五〇

（内線）二〇一

## 編集後期

盛夏の中、同窓会室にて編集会議を重ねること創刊号に同じ。しかし本年はスタッフがそれぞれ多忙な夏のスケジュールのため、やっと九月のはじめ薄水を踏む思いで最終原稿集めと整理にとりかかる。

これまで、永い空白紙状態であった大学同窓会活動を、今後どのように健全で組織的に育てて行くかは、数少ないわれわれ同窓生の仕事内容にかかわっている。

もう中年真っ只中にさしかかった大学草創期の卒業生は、みんな実社会で活躍していることを知っているだけに、この重要な仕事を遂行しなければとガンバッテいます。